

# クリアな水田をキープしたい。



**藻類**  
に効く成分  
ジメタメトリン  
配合

**藻類にも強い。  
だからなぎ倒しや水温低下も防ぎます。**

「稲の生育が悪い」と思うことはありませんか？その原因は、水田の「藻類」かもしれません。

クラールはノビエ、ホタルイなどの一年生雑草に効果を示す

「ブタクロール」だけでなく、藻類の発生を抑える「ジメタメトリン」を配合。

藻類のないクリアな水田を長期間キープするから、

稲のなぎ倒しや、水温低下も防ぎます。

水稲用初期除草剤

**クラール** <sup>EW</sup>  
1キロ  
粒剤



EW



1キロ粒剤

## 水稲用初期除草剤

# クラール<sup>EW</sup>

1キロ粒剤

	登録番号	有効成分		容量
		ジメタメトリン	ブタクロール	
EW	第23507号	0.50%	20.0%	500ml
1キロ粒剤	第23820号	0.30%	7.5%	1kg

藻類の発生を抑える『ジメタメトリン配合』。クリアな水田を長期間キープします。



クラールEW 500ml/10a

対照剤A 300ml/10a

試験場所：宮城県 大崎市（社内試験）

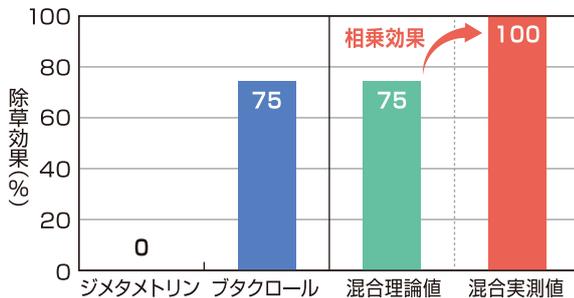
試験規模：10アール、1連

散布：2016年5月18日

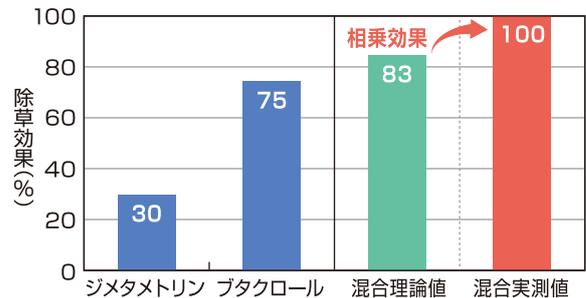
撮影：処理7日後

一年生雑草に強い除草成分『ブタクロール』配合。  
ジメタメトリンとの相乗効果でより安定して雑草の発生を抑えます。

ホタルイに対する残効性



コナギに対する効果



2000年 日産化学(株)生物科学研究所 温室試験  
 [試験概要] 薬量:ジメタメトリン3g/10a、ブタクロール50g/10a、ホタルイ薬剤処理3週間後播種(1/5000aポット)、コナギ1.5葉期処理(1/10000aポット)

### 【適用雑草と使用方法】

作物名	適用雑草名	使用時期	剤型・使用量	本剤及びそれぞれの有効成分を含む農業の総使用回数	使用方法
移植水稲	水田一年生雑草 及び マツバイ ホタルイ ヘラオモダカ ミズガヤツリ アオミドロ・藻類による 表層はく離	植代後～移植7日前又は 移植直後～ノビエ1.5葉期 ただし、移植後30日まで	EW: 500ml/10a	本剤:1回 ジメタメトリン剤:2回以内 ブタクロール剤:2回以内	原液湛水散布
		移植時	1キロ粒剤: 1kg/10a		田植同時散布機で施用
		植代後～移植7日前又は 移植直後～ノビエ1.5葉期 ただし、移植後30日まで			湛水散布又は 無人航空機による散布

●苗に付着すると軽微な薬害を生じることがあるので本剤を移植後に散布する場合は水稲になるべくかからないようにしてください(EW)。

●使用前にはラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●本剤は小児の手の届く所には置かないでください。

本資料は2021年7月現在の登録内容に基づいています。



## 日産化学株式会社

東京都中央区日本橋二丁目5番1号  
 ホームページ <https://www.nissan-agro.net/>  
 お客様窓口 TEL.03-4463-8271 (9:00~17:30 土日祝日除く)

CLR-SHR4A